



The Comet

The Newsletter of K. International School Tokyo

Volume 13 | Issue 3 | December 2009

In this issue...

- ▶ Festa'09 report...p. 3
- ▶ Office Updates...p. 4
- ▶ School Website...p. 5
- ▶ Inter-House Cross Country Report...p. 7
- ▶ KIST Language Policy Review...p. 8
- ▶ Model United Nations at KIST...p. 8
- ▶ MYP News...p. 9
- ▶ A Snapshot of the PYP Curriculum...p.10
- ▶ Library News...p. 12
- ▶ Lower School Cross Country...p. 13
- ▶ Nihongo Notes 3...p. 15
- ▶ Global Changemakers...p. 16

1人でできることはわず
かでも、みんなで力を合
わせれば多くのことがで
きます。

ヘレン・ケラー

校長室から

皆さん、有意義な秋休みをゆっくりと過ごされたことと思います。

学校生活は相変わらず忙しく、この数週間の間にもいろいろなことがありました。Festa'09 をこれほどまでの大成功に導いてくださったスクールコミュニティーメンバー全員に心から御礼申し上げます。さまざまなアクティビティー、アイテム、フードが提供され、また、たいへんな数の来場者とコスチュームとで本当にお祭り気分の楽しい一日となりました。当日集まった資金は校庭の人工芝化に使います。残念ながらまだ必要資金には足りていませんが、このニュースレターの引用句にもあるとおり、みんなで力を合わせれば多くのことが可能になります。人工芝委員会が募金活動についてのアイデアをいろいろと出しておりますので、生徒と保護者の方1人1人が、貢献し、参加し、委員会をサポートしていただきたいと思ひます。人工芝サンプルを試した生徒たちがどれほど楽しんでいただけたことでしょうか。それだけでも、このプロジェクトが当校の生徒にとっていかに重要であるかがお分かりになると思ひます。冬休み中に人工芝敷設に着手する予定です。皆様の引き続きのご支援をお願いいたします。

お気づきにならなかった方も多いかもかもしれませんが、スクールフェスティバルのあった週末に学校のウェブサイトが双方向型のものにリニューアルされました。インターネット上の学校の「顔」が著しくリフトアップされてさらに魅力的で今風になりました。

また、この時期学校では来年度に必要な教職員を確保するプロセスに入っています。ちょっと気が早いと思われるかもしれませんが、これはインターナショナルスクールのリクルートカレンダーに沿ったものです。今年も昨年同様、シドニーとロンドンで行われるリクルートフェアに出かけます。本年度末をもって新たなベンチャーに挑むスタッフも多くおります。私自身と Amanda Cooke もその1人です。

学校は、すでに（私が現在担当してる）セカンダリー校長を兼務する学校長と、ローワースクールコーディネーターの適任者を探し始めています。このローワースクールコーディネーターは、学校のアドミニチームの再編に伴い、現行のローワースクール校長に代わる役職です。エレメンタリー校長が、ローワースクールとプライマリースクールを率いて、ローワースクールコーディネーターはエレメンタリー校長の直屬となります。新組織の詳細については次のニュースレターでお知らせします。私はKISTの本質的な精神がコミュニティーに引き継がれさらに繁栄していくよう引き継ぎをしっかりとし、指導していきます。

皆様が良い休暇を過ごされ、素晴らしい新年をお迎えになるようお祈りいたします。私は、オーストラリアで家族とお祝いする予定です。

Anne Grahame
Principal

KIST Learning for Life KIST Learning for Life KIST Learning for Life

DATES TO REMEMBER



December 10:
Santa Photo Day

December 16:
Interim reports distributed

December 18:
Last day of Autumn Term

December 19 – January 11:
Winter vacation

January 12:
Start of Winter Term

January 18:
Clubs and ESL start

January 22:
(K1 – K3) School holiday (enrolment interviews)

January 27:
Japanese New Year celebration

February 11:
School holiday

February 15 – 19:
(G3/G5/G7/G9) ISA testing

February 22 – 26:
No clubs this week (ESL as usual)

理事長から一言

スクールフェスティバルは皆様のご協力のお陰で、大成功を収めることができました。当日は天候にも恵まれ、5500名以上の人々にお越し頂け、今回の目的であるプレイグラウンドの人工芝化のための資金集めも大きな成果を収めました。心よりお礼申し上げます。

KISTにおけるスクールフェスティバルは、創設当時図書室の本を少しでも増やすため、その資金集めを目的として生徒、保護者の皆さんと学校のスタッフが一体となってスタートしました。それ以来、スクールコミュニティが一体となって子供たちのために目標達成に向かって努力するというKISTのすばらしい文化が培われてきました。

私が何よりもうれしかったのは、今回の成功はこの文化(一つの目標に向かって皆で一緒に汗を流す、そのプロセスを大切にする。)がKISTに根付いていることを証明するものだからです。本当にありがとうございました。引き続きこれからもご協力のほどよろしくお願い致します。

Yoshishige Komaki
School Director



ス. Festa'09の思い出

私は今年 KISTに着任したばかりで、10月24日のスクールフェスティバルがどんなものなのか、まったく予想ができませんでした。他の学校での同じようなイベントでの過去の経験から期待していなかったのですが、何とも素晴らしい一日で、驚くと同時に、大いに楽しみました。

特に一番印象に残ったのは、その参加者です。スクールコミュニティ全体がただ「そこにいた」だけでなくフェスティバルのあらゆる側面にアクティブにそして熱心に貢献していたことです。模擬店を出していた保護者の方からパフォーマンスやアクティビティを行っていた生徒たち、風変わりりで可笑しいコスチュームの教員たちまで、全員がエンタテインメントと献身の楽しい雰囲気を作り上げていました。

また、学校の生徒に役に立つ明確なゴールがあったことも重要なポイントでした。当日の目的がみんなに浸透していて、KIST校庭の人工芝化とさらなる施設の充実という目標に向かってみんなが一丸となってエネルギーに突き進むことができたと思います。



フェスティバルの裏方として、中心となって企画運営してくれたオフィススタッフは特にお祝いを受けるに値すると思います。フード、お店、アクティビティ、エンターテイナー、賞品、イベントの数、バラエティ、質ともに私が今までに経験したスクールフェスティバルすべてを凌駕するものでした。学校を一夜にしてフェスティバル会場に変えてしまうなど本当にすごいことでした。

このニューズレターの他の記事も触れていると思いますが、今年のフェスティバルではこれまでにない多額の資金を集めることができました。人工芝の資金目標はまだ達成できていませんが、スクールコミュニティ全体が一丸となってこのような精神と奉仕をもたらしたこのイベントを成功と呼ばずして何と呼びましょうか。

Andrew Young
Secondary Teacher



★ Festa'09 Report ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

皆様お疲れさまでした。また、皆様それぞれに楽しんで頂けましたでしょうか？
 今年は初めての試みで入場規制をせず、一般の方にも入って頂くことができるようにシステムを変更したところ、5500人以上もの来場者数を記録しました。心配をしていた安全面に関して心配をしていた安全面に関して問題なく無事に終了することができました。今年度は校庭の人工芝生化と園庭の改良工事のための資金を調達するという目標を掲げて全校レベルで様々な形で保護者の皆様に活動をして頂きました。皆様のご協力を得て、今年度は総売上金額6,871,405円でした。諸経費を差し引き、芝生のために4,667,614円、Habitat for Humanityに207,746円の利益を得ることができました。



目標額の7,000,000円には達することができませんでしたが、昨年の1.5倍の収益でした。本当にご協力ありがとうございました。来年以降も一般開放する方向で考えています。

来年へのアイデアや改善点がありましたら、friend@kist.ed.jpへお願いします。

今回、多くのクラスから材料費などの経費を各クラスの寄付で賄って頂きました。また、ちゃんこ鍋の経費は、すべてK2 Saka motoさん(木瀬部屋)からの寄付で行いました。なお、Habitat for Humanityへ寄付されるG10が運営したHaunted Houseの利益は205,375円、G11が運営したCrafts & Scienceの利益は2,371円でした。

利益詳細は以下の通りです。



K. Festa'09



Entrance Ticket Sales	¥529,100
Raffle Ticket Sales	¥1,187,100
Coupon Ticket Sales	¥4,062,000
Cash (including donations)	¥1,093,205
Total Sales	¥6,871,405
Expenses	¥-1,996,045
Profit	¥4,875,360

(¥207,746 for Habitat, ¥4,667,614 for Artificial turf)

Sales Details:

	Booth	Operated	Total Sales	Expenses	Profit
Food booth	Drinks & Lucky Dip	K1	¥458,550	¥0	¥458,550
	Sumo food (Chanko)	K2	¥129,500	¥0	¥129,500
	Indian food	K2	¥103,750	¥16,934	¥86,816
	Mexican food	G2	¥167,125	¥0	¥167,125
	Hawaiian food, Shaved ice	G3	¥238,146	¥0	¥238,146
	Yakisoba / Baby-sponge cakes	G6	¥151,728	¥0	¥151,728
	Cakes / Drinks	G9	¥118,350	¥0	¥118,350
	Korean food	G10	¥238,600	¥0	¥238,600
	Popcorn, Chocolate bananas	G11	¥130,725	¥30,726	¥99,999
	Thai food	Volunteer	¥189,500	¥70,604	¥118,896
	Pakistani food	Volunteer	¥104,625	¥48,848	¥55,777
	Crepes	Staff	¥81,275	¥0	¥81,275
	Candy Sales	Staff	¥107,440	¥93,120	¥14,320
	Other booth	Face / Henna painting & Nail art	K3	¥149,000	¥58,478
Bazaar		G4&5	¥483,525	¥12,424	¥471,101
Can Badge Sales		G6&7 Students	¥175,372	¥130,620	¥44,752
Air slider/Jumping Catch		G7	¥195,500	¥189,550	¥5,950
Games		G8	¥369,500	¥79,143	¥290,357
Cloakroom		Staff	¥4,000	¥0	¥4,000
Bus Lounge		Staff	¥8,500	¥0	¥8,500
Advertising		Staff	¥150,000	¥71,400	¥78,600
Habitat for Humanity	Crafts and science	G11 Students	¥6,625	¥4,254	¥2,371
	Haunted House	G10 Students	¥205,375	¥0	¥205,375

Donations

Donations	¥291,400
Contributions	¥90,000
Staff Donations (T-shirt making)	¥31,565
Café Tomato	¥60,716
K Shop	¥33,284
Softball Club	¥10,000
Basketball Club	¥55,000



Office Updates

スクールサポートプログラム

朝のバスヘルプ

スクールサポートプログラム（SSP）にご協力ありがとうございます。皆様ご存じの通り、SSPの仕事の1つに朝バスのアテンダントがあります。これは朝バスを利用するLower Schoolの生徒の面倒をみるためのものです。時々スケジュールをされていた方から当日の朝急なキャンセルがはいります。このような場合急遽スタッフをアテンダントとして手配しますが、6:40学校出発という早期のためどうしても調整できない場合もあります。その結果、安全上望ましくないのですがアテンダントがいない状態となります。

この状況を改善するため、これらのバス停付近にお住まいの方、もしくは運行ルート上にお住まいの方で、当日の急なキャンセルに対応可能な方を緊急アテンダントとして登録させて頂き、必要な場合にこちらから連絡をさせて頂き、登録場所から緊急アテンダントとして乗車して頂くことができると考えています。勿論このサポートは通常のSSPとしてカウントされません。

**緊急アテンダントとして登録を希望される方は、
admin@kist.ed.jpまたは03-3642-9992まで、オフィスのMrs
Naito宛にご連絡ください。ご協力よろしくお願ひします。**

サインアップシート

各学期のスクールサポートプログラムの仕事の種類と日にちの希望を書くサインアップシートは、前学期末の2ヶ月前お渡しします。そして学期の最後の月に当番表をお渡しします。サインアップシートと当番表は登録されている学校からのお知らせの受け取り方法（紙またはEメール）によって配られます。なんらかの理由でフォームを受け取っていないご家族は、ご自身の責任で学期末までに学校に連絡するようお願いいたします。

当番表を受け取ったら、仕事の日を忘れることのないよう、日にちを確認してください。また、仕事を予定通りの時間に始めることのできるよう、適切な時間に学校にいらして下さい。時間ぎりぎりの遅刻およびキャンセルをした保護者の代わりを手配するのはとても難しいことです。なんらかの理由で予定されている日に仕事ができない場合は事前にご連絡ください。また、代わり仕事ができる人を手配していただければ幸いです。

仕事に来なかったり、10分以上遅刻をした保護者の方にはSSPを1回追加させて頂きます。

ユニフォームに関する注意

保護者の皆さんには、お子さんが常に正しいスクールユニフォームを着用しているよう確認していただきたいと思えます。1人が間違ったユニフォームを着ていることで、他の生徒も着てもよいものと勘違いしてしまい、結果として制服のルールが乱れてしまっています。生徒一人一人が正しいユニフォームの着用を心がけてください。

保護者の皆様にもご協力をお願いしたいと思います。下記のスクールユニフォームに関しての注意をご覧になってください。

- 従前からお知らせしておりますが、PETラックスーツ(トレーニングウェア)は2009 Autumn Termよりスクール指定の物(KISTの青いトレーニングウェアの上下)が着用義務になっております。指定の物を着用していない生徒にはイエロースリップ(注意書)を渡していますので、早急に購入をお願いします。また、購入の際には必ず試着をしてから購入してください。
- スクール指定でないボタンドアウンシャツを着ている生徒が多く見受けられます。必ずスクール指定のシャツを着てください。
- 学校規定の制服で学校が提供しているサイズでは適切なサイズが無い場合は、市販の物で似ている物を購入することを許可していますが、必ず事前に申請と許可が必要となります。
- 冬の防寒アイテム(手袋、マフラー、帽子)は、黒色で柄などの入っていない物を着用してください。黒以外の物を使用している生徒は黒の物に買い替えてください。またコートは登下校の際も含め必ずスクール指定コートを着用してください。スクール指定のもの以外のアイテムを着用している生徒は、早急に購入をお願いします。手袋、マフラー、帽子は学校の受付で購入することができます。サイズや値段は受付に直接聞いて下さい。
- クラブのユニフォームはクラブ時のみ着用可能です。クラブ時間以外には着用できませんので、スクールユニフォームに着替えてください。



テクノロジー費

今年度の初めにもお伝えしましたが、在校生のご家庭に今年のテクノロジー費として、15,000円を頂くことになりました。支払いは冬学期(5,000円)と春学期(10,000円)の2回に分け、それぞれ12月15日と3月15日締め切りの通常の授業料に加算した請求書を発行いたします。すでに年間の授業料を一括でお支払いいただいた方には各学期に別途請求書をお送りします

2010-2011年度の学期について

皆様が海外への旅行の計画を立てられるように2010-2011年度の学期日程をお知らせいたします。早めにお知らせすることで、学期開始日までに必ず日本に帰ってきていただきたいと思えます。スクールカレンダーは現在製作中で、来学期にはお渡しいたします。

秋学期:

2010年8月23日(月) - 12月17日(金)

冬学期:

2011年1月11日(火) - 3月23日(水)

春学期:

2011年4月5日(火) - 6月22日(水)



駐車問題

先日再び当校保護者のお迎えの車による駐車への苦情と、それに対して警察からも厳しい指導が入りました。

その内容は、清洲橋通りの学校側道路の最左側車線が、お迎えの時間帯に当校保護者の駐車によって1ブロック(約100メートル近い距離)車線が使えない状態を作っていて、交通に支障をきたしているということです。また、赤礼堂から学校正門の道路についても同様です。毎日この時間帯にこの道路を使用している方に大変迷惑をかけています。

なお、車に運転する人が乗っていれば駐車違反ではないと思っている保護者もいらっしゃいますが、道路交通法上は、一定時間そこに停まっていれば運転者の有無に関わらずそれは駐車とみなされ、駐車違反となります。

近日中に全校保護者の皆様に送迎方法についての調査書をお送りし、その結果も踏まえて対策を考えていきますが、それまでは車で送迎をされる方には、従前からお願いしていますように必ず駐車場に入れてくださることを強くお願いいたします。

解決案として

- ① 限られた駐車場数を皆で使用できるよう駐車時間の短縮するために、お子さんとピックアップ時間を決める。
- ② 駐車集中による駐車場満車を防ぐため、利用者同志でお子さんのピックアップ時間を調整する。特にG1-G5生徒で3:30までグラウンドで遊びたい場合は3:30以降に駐車場へ入れる。
- ③ 駐車場に入れられなかった場合、道路に駐車せず、学校の近辺を走行し再度駐車場に戻ってくる。

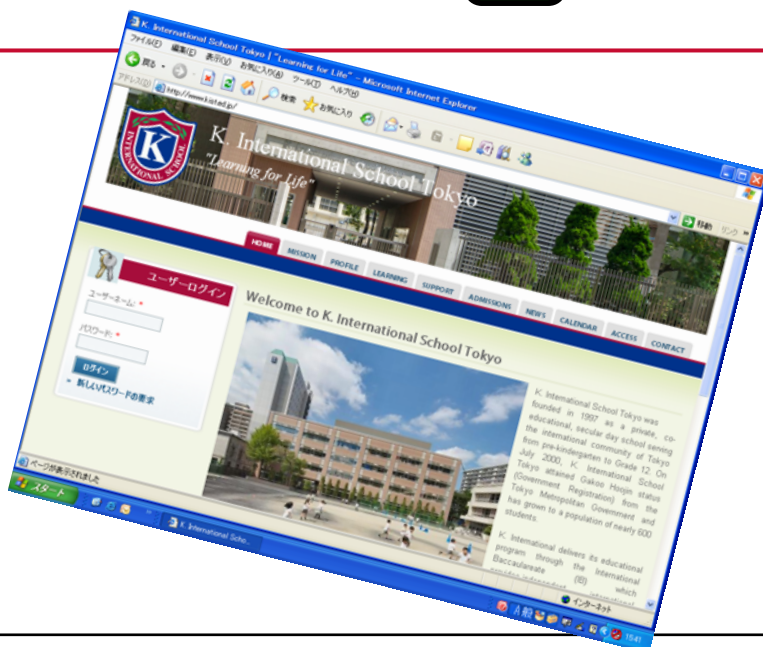
実際にお車で送迎をされていらっしゃる保護者の皆様からぜひ、具体的な対策などアイデアがありましたら、一緒にこの問題を解決していきたいと思えます。皆様のご協力をお願いいたします。



スクールウェブサイト

スクールウェブサイトがリニューアルされたことに気づかれたことと思えます。ただし、完全にリニューアルされるには、まだ長い道のりがあります。

リニューアルの次の段階は、在校生の家庭のためのログ分野とそれに伴うシステムです。このログが完成しましたら、全家庭に詳細をお知らせします。



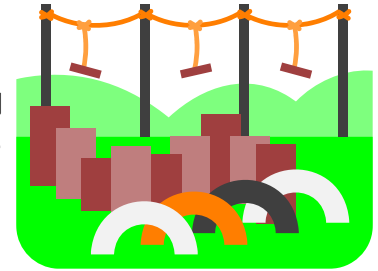
ローワースクールから

プレイグラウンドについて

ローワースクールプレイグラウンド

引き続きローワースクールプレイグラウンドの改良を行っています。予定より少し時間がかかっていますが、入念な辛抱強い努力が可能な限り最良な環境を作るものと確信しています。ローワースクールの教員がチームをつくってこの改良に取り組んでいますが、すでに外部の校庭デザイン会社からデザインの協力を受けており、リノベーションを担当してもらう予定です。

ローワースクールの教員は授業日に生徒が外遊びの経験ができるよう努力していますが、共有であることから、時には使えなかったり時間がかかったりすることがあります。そこで、この学習スペースを大事にするために始業前や放課後、イベントの際には使用しないよう保護者の方をお願いしたいと思います。残念ながら道具が傷ついたり壊れたりすることがたびたび起きているからです。お子さんには、このスペースは学校時間中に教員の監督がある時のみ使用できることをしっかりとお伝えください。学校の校庭の方は他の時間も使用可能です。



メインプレイグラウンド

校庭でも年少の生徒たちが遊べるようなものを用意しているところです。現在砂場とよじ登る遊具を探しています。どちらも年少の子供たちの身体的、学問的発達に不可欠です。

先日Mana(G1B)ファミリーから新しいフラフープを寄贈していただきました。ありがとうございました。またこの機会に、他の皆様方に校庭で使うのに相応しい道具類がありましたらぜひご寄付いただきたくお願いいたします。もし何かございましたら、Mrs Matamu (G2B) b_matamu@kist.ed.jp までお知らせください。その道具が適切かどうかを見て判断させていただきます。

教職員移動について

大変残念ですが、Ms Collings (K2A) が今学期末をもってオーストラリアに戻ることになりました。Ms CollingsはKISTIにいることをとても楽しんでいたのですが、家庭の都合でオーストラリアに戻ることを決めました。彼女がこれまでKISTで過ごしてくれたこととスクールコミュニティへの貢献を感謝したいと思います。彼女とその家族の幸せをお祈りします。

冬学期は当校のリリーフティーチャーの1人であるMr Jonesが後任として担当し、4月からは現在育児休暇中のMrs Astropが担当します。引き続きクラスを担当するMs SterlingとMrs AstropとMr Jonesのプロフェッショナルリズムにより K2Aの生徒は今までどおりの質の高い教育を受けることができると私たちは自信を持っています。この件に関して何かご質問やご心配ありましたら、どうぞ直接私にお話しください。

Amanda Cooke

Lower School Principal

Mini Basketball News

10月4、31日と11月1日に行われた、第63回江東区区民体育大会ミニバスケットボール大会において、KIST Comets Mini Basketball Team(男子)は最終日に行われた決勝トーナメントまで勝ち上がり、3位入賞という素晴らしい結果を残しました。

また、Cometsの選手より、G7Salam、RoshanaそしてG6のTysonが江東区代表選手に選出され、12月5、6日と12月13日に行われる、トーマスカップ、第25回東京都23区部選抜ミニバスケットボール大会出場にむけて、江東区の選抜選手とともに合同練習に励んでいます。

Eri Ozawa

Coach



インターハウスクロスカントリー報告

素晴らしいお天気に恵まれた11月6日（金） KISTインターハウスクロスカントリーが、大島小松川公園で開催され、G2からG12までの各学年が参加しました。全生徒がコースを完走。皆とても良く走りました。本州ハウス（赤チーム）優勝おめでとう。他のチームもその健闘ぶりを称えたいと思います。当日おいでいただき、生徒の応援をして下さった保護者の方々、ありがとうございました。お子さんと一緒にピクニックを楽しんでいただけたことと思います。また、このイベントのために時間を割き、成功に導いてくれた教員の皆さんにも感謝します。

今回それぞれの学年で3位以内に入った生徒は、11月27日（金）に大島小松川公園で行われたインタースクールクロスカントリーに出場しました。来年もこのイベントで皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

Will Spring

Head of Physical Education



結果は次の通りです (= は同着):

Grade 2 Boys:

1st: Coco (G2B)
2nd: Zac (G2B)
3rd: Amane (G2B)

Grade 2 Girls:

1st: Minori (G2B)
2nd: Emily (G2A)
3rd: Ashley (G2A)

Grade 8 Boys:

1st: Shinnosuke (G8A)
2nd: Roland (G8A)
3rd: Abhinav (G8A)

Grade 8 Girls:

1st: Himeka (G8A)
2nd: Gina (G8B)
3rd: Miku (G8A)

Grade 3 Boys:

1st: Keina (G3A)
2nd: Shin (G3B)
3rd: Toshiki (G3A)

Grade 3 Girls:

1st: Hina (G3A)
2nd: Samantha (G3B)
3rd: Eleonore (G3B)

Grade 9 Boys:

1st: Shimon (G9B)
=2nd: Abeer (G9B)
=2nd: Alakhsa (G9A)

Grade 9 Girls:

1st: Monica (G9B)
2nd: Shifa (G9A)
3rd: Marie (G9A)

Grade 4 Boys:

1st: Sho (G4A)
2nd: Hiroshi (G4B)
3rd: Hikaru (G4B)

Grade 4 Girls:

1st: Seina (G4B)
2nd: Riko (G4A)
3rd: Yi-Ting (G4A)

Grade 10 Boys:

1st: Eric
2nd: Ryouyuke
3rd: Leo

Grade 10 Girls:

1st: Erica
2nd: Sung Hye
3rd: Na Yeong

Grade 5 Boys:

1st: Haruto (G5A)
2nd: Shouta (G5A)
3rd: Masaru (G5B)

Grade 5 Girls:

1st: Moana (G5A)
2nd: Sophia (G5A)
3rd: Lin (G5A)

Grade 11 Boys:

1st: Pyay Phyto
2nd: Keito
3rd: Jakub

Grade 11 Girls:

1st: Shreya
2nd: Da Hea
3rd: Saleha

Grade 6 Boys:

1st: Tyson (G6A)
2nd: Kai (G6B)
3rd: Mihir (G6B)

Grade 6 Girls:

1st: Nino (G6A)
2nd: Tabasa (G6A)
3rd: Yen Ning (G6A)

Grade 12 Boys:

1st: Sho
2nd: Min-Hyung
=3rd: Dong Hyun
=3rd: Aditya

Grade 12 Girls:

1st: Yuri
2nd: Katina
3rd: Joann



KIST 言語ポリシー

当校のSchool Development Plan（学校発展計画）のアクションの一部として冬学期と春学期に現行の言語ポリシーの見直しをします。2008年にIBが発表したガイドラインに沿って行います。以下はそのガイドラインの一部です。

言語ポリシーはその学校の言語哲学に基づくもので、言語教育と学習の目標と目的を明確に説明したものである。指導法と学習法についての信条に基づくものであるから、これは目標を達成し、評価するためのアクションを明確に説明したものである。

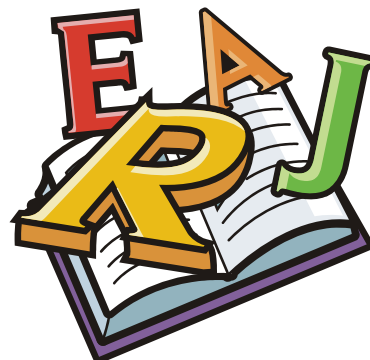
言語ポリシーはIBが規定した基本方針と方法に沿ったものでなければならない。従って言語ポリシーは、

- 言語は学習の中心にあることから、すべての教員がランゲージティーチャーとなってコミュニケーションを円滑にする責任がある。
- 母語の他に一つ以上の言語を学ぶ生徒のためにどのように学習したらよいかを概説する。
- すべての学習者に対してどのように母語を維持し伸ばしていったらよいかを説明する。
- 母語以外で学んでいる生徒も含め、すべての学習者が学校の提供しているIBプログラムに公平にアクセスできるよう確保する。
- ホスト国の言語をどのように促進、奨励していくかを説明する。
- アドミニ、教員、ライブラリアン、その他学校職員が言語教育、学習についての専門研修を受け、学校の言語ポリシーが実際に使われる文書となるよう確認する。
- 子供の言語プロフィールと言語発達の計画に保護者を参加させるためにはどんなリソースや実践が必要かを考える。

各学校はそれぞれ多様な言語と学習関連ニーズを伴う固有の社会的状況にあるため、言語ポリシーはそれぞれの学校の社会的、文化的環境を考慮しなければならない。これらの環境は流動的であるため、言語ポリシーは学校の変化するニーズに合わせていくことのできるようなダイナミックで柔軟なものである必要がある。従って言語ポリシーを築いていく際には、初期段階から引き続き協同の振り返り作業を行い、変化をモニターし、コミュニティ全体の見方や要望を考慮しなければならない。(Guidelines for Developing a School Language Policy, IB, 2008)

まず最初のステップは言語ポリシー運営委員会の創設です。さらに詳しい情報やこの委員会への参加に興味をお持ちの方は私まで d_rentoule@kist.ed.jp メールでご連絡ください。IBドキュメント全文と現在の当校の言語ポリシーをお送りします。

Kind regards,
Damian Rentoule
 Vice Principal/Curriculum Director



KISTで模擬国連開催



Mike Wagner
 MUN Coordinator

2009年2月5日(土)KISTにて関東地方のインターナショナルスクールによる模擬国連が開催されます。

KISTの他に横須賀米海軍基地内にある Kinnick High School、横田米空軍基地内にあるYokota High School、座間米陸軍基地内にあるZama High SchoolとSaint Mary's International Schoolの4校が参加します。

100名あまりの生徒たちがこの模擬国連に参加し、国連で審議されている問題、例えば海賊行為、少年兵、麻薬密売、経済危機の環境への影響、イランや北朝鮮に対する核軍縮問題などについて討論します。模擬国連で生徒たちは他の国について学び、世界中の国々に影響のある諸問題についての違った見方を知ることができます。勉強し、討論することによって、生徒はより思慮深く責任のある地球市民となることができます。Mr Wagnerが発起人となってKISTが参加する模擬国連は今年で3年目となりました。1年目の参加者は10名でしたが、今年はG9からG12までの生徒52人が参加します。模擬国連の行われるこの土曜日はKISTにとって忙しい日となるでしょう。保護者の参観も歓迎いたします。

MYP News

なぜMYPなのか？

IB中等課程プログラム (MYP) - 大学と政府機関への案内 (2009)から

- 世界各国IBスクールの88%が、その教授法（現実世界で重要なコンテンツを生徒が探究することを含めた構成主義アプローチ）をMYPを選択する際に影響を与えた重要な要素であるとしています。
- 世界各国IBスクールの70%が、MYPのフレームワークを使ったコース内容開発の能力やその柔軟性をMYPを選択する際に影響を与えた重要な要素であるとしています。
- MYP卒業生の38%がバイリンガルIBディプロマを取得しています。
- MYP卒業生の44%がディプロマプログラム (DP) の一環である知識の理論 (TOK) で最高成績のAまたはB、85%がA、BまたはCを取得しています。
- 世界各国IBスクールの79%がその学問的な厳しさを重視し、MYPを選択する際に影響を与えた要素であるとしています。
- MYP卒業生の38%がDPの一環である課題論文で最高成績のAまたはBを取得し、78%がA、B、またはCを取得しています。



MYP Grade 6 students explore levers during a Science lesson

MYP保護者インフォメーションセッション

2学期に、3つのインフォメーションセッションを行う予定です。各セッションの参加人数は15名様を限定としております。また、各セッションを2回に分けて行う予定をしていますが、さらに追加の回の希望がある場合は、検討しながら決めたいと思います。このセッションに参加ご希望の方は、セッションの名前、希望日と時間を書き、私Ross FerrisのEメール (myp_co@kist.ed.jp) までご連絡ください。インフォメーションセッション日が近づく頃にまた連絡しますので、よろしくお願い致します。

Ross Ferris

MYP Coordinator

Dates / Times	Subject
Monday, January 25 9.00 - 10.00 a.m. 5.00 - 6.00 p.m.	概念に基づいたカリキュラム - 大きな概念(ビッグアイデア)を通して学ぶ 実例を使用し、カリキュラムに含まれる重要な要素や、生徒たちが学習したものを実生活で活かせるメリットなどを説明します。深い理解へと導く高次の思考の例を使い、概念から学習することの価値を説明します。皆様からの質問の時間も含まれています。
Monday, February 8 9.00 - 10.00 a.m. 5.00 - 6.00 p.m.	MYPの評価 MYPで評価している評価基準(クライテリア)の説明や、MYPの評価用フレームワークの備え方を説明します。クライテリア使用のアセスメントの有利な点を説明したうえで、MYPでの評価と、他の一般評価のアセスメントの違いをお見せします。G6からG8までの評価基準の修正開発や、外部モデレーションの進展についても説明します。皆様からの質問の時間も含まれています。
Monday, March 1 9.00 - 10.00 a.m. 5.00 - 6.00 p.m.	相互作用のエリア(AOI) AOIの役目を、実際のKISTユニットでの探究学習の例を使いながら説明します。コミュニティと奉仕の実際要素も詳しく説明します。学習の姿勢(ATL)の開発の一步となる思考力や、MYPの一環であり、最近開発したApproaches to Learning scope and sequence(ATLSS)の勉強についてもお話します。皆様からの質問の時間も含まれています。

セカンダリーレポートの変更内容

MYPとDPの成績表の見直しを行い、今学期からレポートのフォーマットが変わります。この変更は2段階にわたって行われます。成績を管理する新しいソフトウェアシステムを導入し、まず中間成績表(Interim Report)から変更し、学年末の成績表(End of Year Report)で完成します。フォーマットには3つの大きな変更を行いました:

1. 私たちは成績レポートを学校関係の皆様全員に分かりやすく伝えるように変えていきたいと思っています。また、複製する物を減らすために新しいシステム法でレポートを作っていくと思っています。MYPの成績表には各科目の各評価基準に総合点を備え、また、各科目の総合点(1-7)も備えます。従来通りそれぞれのタスク別の評価基準は、生徒たちに渡すアセスメントタスクにあるルーブリックからご覧になれます。(詳細についてはお子さんにお聞きください。)今学期のInterim Reportに関しては、総合点(1-7)と先生からのコメントのみとなります。DPの成績表には、各アセスメントタスクの成績(1-7)と各科目の総合点(1-7)、そして先生からのコメントがのっています。
2. 私たちは成績レポートを皆様に送る際に、環境に優しくしたいと思います。Interim Reportは全体的なサイズを縮小した紙のハードコピーで送りますが、End of Year Reportは電子版を使用する予定です。
3. 私たちは成績レポートを皆様がいつでもアクセスしやすく出来るようにしたいと思います。レポートをセキュリティーを確保した学校のウェブサイトを通してお送りしたいと思います。ご家族の皆様が過去のレポートも含まれたどのレポートにもいつでもアクセスができるようにします。

これからもより明確で、環境も考えたレポートシステムになるように心掛けていきます。

Damian Rentoule

Vice Principal/Curriculum Director

プライマリースクールニュース

新学期の時間が早く過ぎ、残る3週間になりました。プライマリースクールは様々なイベント事や、たくさんの進展・開発に向けて忙しい毎日を過ごしています。

最近行われたインターハウスクロスカントリーを手配してくれたPE部門の教員全員に感謝します。このイベントの成功のためにたくさんの時間と力を注いでくれました。また、生徒たちを応援するためのたくさんの保護者の皆様と教員たちからの温かい声援や、生徒と一緒に走って応援している光景を目の当たりました。皆様にとっても楽しい時間になったこと願います。

11月は生徒、保護者の皆様と、教員とで面談をする機会もありました。保護者の皆様にとって学校でのお子さんについてお子さん自身を始め、教員たちからの説明を通しより良く知る大切な時間となったと願っています。そして、生徒、保護者の皆様と、教員が向き合うことで、生徒が成し遂げたものを見直し、新たな目標を生み出す機会になったと思います。お忙しい中スケジュールを調整していただき、面談に参加して下さった保護者の皆様へ感謝申し上げます。

12月16日(水)にお渡しする予定の発達レポート(Developmental Report)とPYPポートフォリオの進展に向けて、教員は力をいれて準備しています。前回の文書に比べ、今回のレポートの変化にお気づきになられると思います。皆様からのご意見を求める機会もあり、次のレポート文書を作っていききたいと思います。

ICT(Information Communication Technology)の開発が進むにつれ、プライマリーの生徒たちの成長も見られ大変うれしく思います。

今年の夏には新校舎ができ、学校にいろいろな変化がありました。各クラスにデジタルプロジェクターが加えられ、2つのコンピューター用のテーブルにラップトップが4つずつ置かれ、6つの個々のラップトップに、モバイルスキャナーとビデオセット1つずつ、そして教員と生徒が使えるようにデジタルカメラやワイヤレスネットワークが増えました。今後も学校でのテクノロジーの開発を広げていきたいと思っています。ハードウェアにつきましては、学校のEducational Technologies Integratorとしてまた新しいメンバーがICTチームに加わります。そしてソフトウェアにつきましては、G5の生徒たちが"Mathletics"という新しいオンラインプログラムを使い始め、生徒たちからも好評です。また、皆様が家でも簡単にアクセスできるように、学校では新しいデータベースプログラムのインストールの準備に取り組んでいます。このような学校での変化が生徒たちの成長に導き、そして、学校とご家族の皆様とのコミュニケーションをより深められるようにしていきたいと思っています。

このニュースレターは学校とご家族の皆様とのコミュニケーションの一つで、生徒たちの学習内容や、教員たちがどのようにサポートしているのかを知って頂く為にお届けしています。

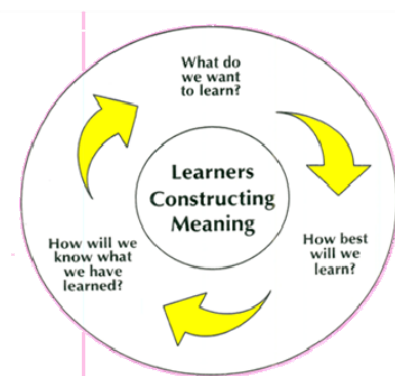
今学期が終わる前にたくさんの方々にお会いできることを楽しみにしています。またお会いできなかった皆様には良い冬休みをお過ごしできることを願っています。

Greg Brunton
Primary School Principal

PYP カリキュラムについて

「カリキュラム」というと多くの人は学校で生徒が習う知識について書かれた文書を思い浮かべるのではないのでしょうか。それには、生徒が身につけなければならない学問的スキルや、生徒が模範的存在となるに相応しい望まれる性格特性なども含まれるのではないのでしょうか。初等教育において終わりが無いほど様々なカリキュラム文書について多くの議論がおこなわれてきました—どれが最も難しいか、発達に依っているか、文化的に相応しいかなど。IBのプライマリーイヤープログラム(PYP)では、今までのカリキュラムとは全く違った広い視点をもっています。PYPでは、「カリキュラム」を学習者が意味を構築する概念を中心に展開しています。PYPカリキュラムモデルは生徒中心です。これは、学習というものは生徒(そして教員)がさまざまなアクティビティーを通してすでに身に付けた知識の上に新たな理解を積み上げていくものだと考えています。この過程には常に自分を振り返る行為、質問をする自由、リスクを恐れずやってみようという動機、すでに学んだことに基づいて行動を起こしたいという気持ちが必要です。

では、実際のPYPカリキュラムモデルはどんなものでしょうか。それは、3つの関連した、均等に重要な要素からなっています。プライマリーイヤープログラムの最初から終わりまで、探究精神を持ち続けるために、各要素はオープンエンド(イエス/ノーではなく自由に回答する)の質問として表現され、教員が自らの実践を生徒の学びと共に深く考えるように仕向けています。



私たちは何を学びたいのか？

The written curriculum (カリキュラム文書)

学ぶ価値のある知識の枠組みを明らかにする

どのように学んだらよいか？

The taught curriculum (カリキュラムの教え方)

教授法の理論と教室での適用

学んだことをどう確認するか？

The assessed curriculum (カリキュラムの評価)

効果的な評価理論とその応用

カリキュラム文書

KISTにおけるカリキュラム文書は発達段階をもとにしたものです。短期間に勉強すべきことを列挙したのではなく、プライマリースクールの間にそれぞれの生徒の発達にあわせて何を学ぶべきかを考慮に入れて計画され、使用されています。生徒の学習範囲はIBのスコープ アンド シークエンスや他のカリキュラムモデルから決めています。これらの文書は発達段階のそれぞれのフェーズとK1からG5までの発達に相応しい時期に習得すべき学習効果について書かれています。カリキュラム文書はまた、それぞれの生徒のニーズ、興味、能力に基づいています。この発達段階を考慮した学習法では、生徒の学びのスピードは、同年代のグループのなかでも違いがあり、いろいろなパターンがあるということに配慮しています。また、学習は、知的、社会的、個人的な側面のバランスであり、それぞれが重要で、お互いに結びついているという見地に立っています。

カリキュラムの教え方

次の質問「どのように学んだらよいか？」は、PYPに取り組んでいる学校のカリキュラムの教え方に表れていると思います。カリキュラムの教え方には、教員が生徒を教える際にカリキュラム文書と共に使う方法が含まれます。それは単に「何を」生徒が学ぶかではなく「どうやって」学ぶかです。PYPの教員は生徒を積極的に学習に導くため常に自分の実践を分析し、改善しています。探究学習をもとにした、それぞれの生徒のニーズに合わせた指導法は、世界中で幅広く実践されており、ここKISTでも最良の方法として実施、推奨されています。

KISTにおける教育、学習のもう一つの力強い方法は、共同作業によってきちんと構築された計画で、これには各教員が探究ユニットを計画する際に役立つIBプランナーを使用しています。このプランナーは、7つのオープンエンドの質問、例えば生徒はどのように学んだらよいか、どうしたら自分が学んだことを知ることができるか、どのような行動をとったらよいか、などです。IBプランナーを使うことによって教員は常に頻繁に自分の教え方を振り返り、生徒の興味、準備、学習プロファイル、学習の発達段階に応じて変えています。

カリキュラムの評価

PYPカリキュラムの定義の3番目はカリキュラム評価についてです。それぞれの生徒の学習実態について評価し、抜けが目立ったり、きちんと実践されていない要素がないかどうかを確認めます。学習に焦点を置いた本質的で幅広く、なおかつ照準を定めた評価方法により、カリキュラムのバランスと統合をもたらし、教員が目的を再確認することができます。

PYPは評価について「生徒のパフォーマンスに関する情報を集め分析すること。学習プロセスの各段階で、生徒が何を知っているのか（知識）、理解しているのか（概念）、できるのか（スキル）、感じているのか（態度）を明らかにする。評価は、生徒の学習、自分たちの教え方の効果を分析する手段であり、今後の計画や実践の基礎となる。それは、学習プロセスを通して生徒が素人からエキスパートになるよう導いていくという我々の目標の中心である。」と定義しています。

PYPは、評価をさらに次の3要素に分けています。

- **評価する** – 生徒が何を学んだかをどのようにして発見するか。
 - **記録する** – 生徒が学んだと気付いたことをどのように書き留めるか
 - **報告する** – 情報をいかにして保護者、アドミニ、その他生徒の学習に直接関係する人たちに伝えるか
- KISTでは、ポートフォリオ、三者面談、保護者会、レポートカード（成績表）など、さまざまな方法を使用して、生徒の成長を報告しています。

なぜ評価をするのか？

- 生徒の持続的な学習と成長を促すため
- 5つの必須要件（概念、知識、スキル、態度、行動）を通じて生徒を導く
- 生徒ができることを祝う
- 目標を設定し、今後の生徒の成長に向けての計画を立てる
- 学習プログラムの有効性を評価する

KISTでの評価の目的は、生徒の知識習得を単に評価することをはるかに超えています。また、私たちは態度、求められる学習者像、行動をとる際に自分で決めること、を伸ばすために記録をとり、振り返ってみることの必要性を重視しています。概念（伝統的な教科分野を超えたビッグアイデア）の理解、各教科（学際的スキル、言語、数学、社会、科学、芸術、個人的社会的身体的教育）の進展、を評価することは、このプログラムにおいて個々人の発達ニーズを満たすために必要不可欠です。

これらKISTのカリキュラムの重要な要素についてさらに詳しくお知りになりたい方は、どうぞこれから開催される3回の保護者向けインフォメーションセッションにお越しください。また、当校のウェブサイトおよび国際バカロレア機構のウェブサイト<http://www.ibo.org/>も是非ご参照ください。

Emma Homerlein
PYP Coordinator

Library News

図書館利用案内

Main Library(メイン ライブラリー)

- 主にプライマリー高学年、セカンダリーが利用
- 絵本以外のフィクション、ノンフィクション
- 学習用のPC12台

Jr. Library(ジュニア ライブラリー)

- 主にローワーとプライマリーが利用
- 絵本と簡単な絵や図解のノンフィクション本
- **生徒のみで図書館を訪問することはできません。** 教員の監督がなければ生徒は図書館を利用することはできません。ライブラリーヘルパーは教員ではありません。



Library Opening Hours(開室時間)

授業外での図書館利用が可能な時間です。変更の際はお知らせします。

Lower	Primary	Secondary
ML 8:15-8:35	ML 8:15-8:35	ML: 8:15 - 8:35
JL 15:00-15:30	JL 15:00-15:30	ML: 13:10 - 13:35
保護者同伴のみ	保護者同伴のみ	ML: 15:30 - 16:35
ML 15:30-16:30	ML Lunch Time(図書室で授業が行われていないときのみ)	
	ML 15:30-16:30	

ML = Main Library / JL = Junior Library

Borrowing Limits(貸出冊数)

Grade	Maximum
ECE	
K1 - K2	2
K3	3
Primary	
G1 - G5	4*
Secondary	
G6 - G12	6*

*教科書は含まれません

- 両ライブラリーの合計貸出冊数です。延滞している冊数分は借りることができません。
例. サリー (G1) は一冊延滞しています。延滞本を返すまで3冊しか借りられません。
- 2冊以上延滞している生徒には返却まえ貸出が制限されます。
- ローワーとプライマリーの生徒は貸出を受けるためにライブラリーバッグが必要です。

Using Computer & Printer (コンピューターとプリンター利用)

コンピューターはIDカード(Edyカード)と引き換えで割り当てられます。

印刷: 白黒 10 円 / 枚, カラー 25 円 / 枚

Satoko Yoshimoto

Librarian

おめでとうございます!

Victo (G3A)がボーイスカウト日本連盟に選ばれ11月12日に行われた天皇陛下即位20周年記念式典に出席しました。

Victo、おめでとうございます。式典を楽しまれたことと思います。



Mr Igoeがオーストラリアの University of Southern Queensland 大気物理博士課程に合格しました。おめでとうございます。Mr Igoeは来年から博士課程を始めます。Mr Igoeは生徒たちにとって学校のモットーである「生涯学習」のいいお手本となってくれました。



ローワースクールクロスカントリー

秋日和の美しい日に、K3とGrade 1の生徒たちは清澄通りを通して、今年のローワースクールクロスカントリーの開催地である清澄庭園まで行きました。子供たちは道すがら元気いっぱい笑い声が絶えず、クロスカントリーへの参加を楽しみにしていました。

まずのK3生徒が走りました。彼らの目標は公園1周、520mでした。説明が終わった後、生徒はわくわくした様子で、急いでスタートラインに向かいました。笛が鳴ると、生徒は全速力で自転車に乗っているMr. Southallを追いかけました。コースの途中にはスタッフもあり、生徒たちはたくさんの人たちに頑張っている姿を見せることが出来ました。生徒たちは誇らしげに笑顔をつかべ、ひとりずつゴールしました。大成功です！

そして次にGrade 1が走りました。K3の競争を見たGrade 1の生徒たちは、自分たちも出来るということを見せたがっていました。彼らの目標は1kmを超える公園2周です。それを聞いた生徒からは興奮と不安が入り混じった反応がありました。しかし笛が鳴ると、驚くべき光景を見ることが出来ました。40人のGrade 1の生徒がペースを考える様子を全く見せず、全速力で誘導する自転車を追いかけて行きました。あっという間に2周を走りきり、疲れきった生徒、喉が渇いた生徒、ボロボロになった生徒、けがをしてしまった生徒が笑顔でゴールすることができました。Grade 1も私を驚かせてくれ、また彼らも学校と家族の代表として頑張ったことを誇りに思っていました。

各生徒のがんばりは素晴らしいもので、私もとても驚きました。生徒たちは自身、学校、家族を誇らしい気分させてくれました。

また、この機会にお子さんのレースを見逃してしまった保護者の皆様にお詫びを申し上げます。予定より早く進んでいたため、寒い中生徒たちを座らせて待たせるより、レースを始める決断をしました。次は皆さんに参加していただけるよう、予定に合わせて物事を進めるよう努力したいと思います。このイベントがGrade 2から行われるPrimary/Secondary Cross Countryの準備としてK3とGrade 1の恒例行事になることをとてもうれしく思います。

当日手伝ってくれたスタッフとサポートしてくれた保護者の皆さん、そしてその日を楽しんで特別なものにしてくれた生徒にお礼を言いたいと思います。

Mark Ralph
PE Teacher



IT サポート

新しい教育テクノロジー・インテグレーターとしてChristian Thompsonを迎えることが出来ました。ChristianはIT teamと共に新しい学校のウェブサイトに含まれるシステムの発展を含むIT部門のいくつかの分野を担当します。また、スタッフにこのエリアのトレーニングを提供します。

Christianはルーマニアで数年間ウェブプログラマーとして働き、その前は東京の様々な国際学校で教師をしていました。そのため情報技術関係に豊かな経験があります。Christianは「テクノロジーと教育という私が情熱をかけている2つの分野を生かし、K.国際学校の生徒が全力を発揮できるようにお手伝いをする機会を頂き、とてもありがたく思います。」とっていました。

Christian、新しいポジションで頑張ってください。



セカンダリースクールニュース

前回の *The Comet* でお話しした通り、Carmina (G12) が11月中旬にロンドンで行われたグローバル・チェンジメーカーのためのグローバル・ユース・サミットに参加しました。そして、このサミットでスイスのダヴォスで行われる世界経済フォーラムに参加する6人の生徒の1人として選ばれました。これは素晴らしい功績で、私たちは誇らしく思います。Carminaはオバマ大統領を含むG8のリーダーたちに会う機会を与えられます。

これは当校の生徒たちのしている素晴らしい活動の一つの例で、生徒たちの功績をスクールコミュニティーの皆さんに報告できることをとてもうれしく思います。このニュースレターにCarminaが書いた彼女の経験に関するの記事を載せてありますので、是非ご覧になってください。

KISTでは保護者の皆さんにお子さんの学習に関わりサポートして頂くことを重視しお願いしています。数週間前に行われた三者面談にはたくさんの保護者の皆さんがいらして下さいました。時間を作り、大切な学習のフィードバックループに参加していただいた保護者の皆さんにお礼を言いたいと思います。三者面談は改善させる部分の話をするだけの機会ではありません。成果を喜んだり、コミュニティーの中を深める機会でもあります。

最後になりますが、前回の掲載していた生徒会(SRC)の情報に、Grade 8のIreneが抜けていました。申し訳ございませんでした。

Anne Grahame
Secondary School Principal



Irene (G8)

オーケストラ愛好家

この機会にセカンダリーの音楽の教員として自己紹介をさせて頂きたいと思います。私の名前はTrevor Adamsです。芸術が21世紀の教育に果たす役割に特に関心があります。そのため、私の音楽の授業では作曲が中心な役割を果たしています。この2年の間に保護者の皆様を、東京で行われるオーケストラコンサートに誘いたいと思います。これはお子さんが音楽に触れ、授業での作曲のサポートとなる良い機会です。12月7日(月)の午後6時からこのことについて会議を行います。この会議に参加したい方や詳しい情報をご希望の方は t_adams@kist.ed までご連絡ください。

Trevor Adams
Secondary Music Teacher



求人情報

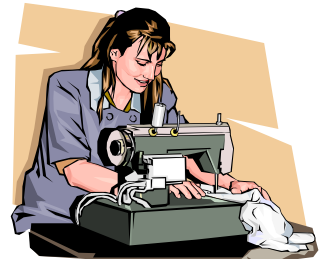
学習サポートアシスタント

Grade 3の生徒の学習サポートアシスタントを募集しています。募集しているのは、クラスの担任の先生と協力して、通常の授業と関連した個人の学習プログラム(特にリーディング)を実行できる人です。通常のクラス活動に適したプログラムを実行するためには補助教員が必要になるかもしれません。子供と接する仕事の経験があり、根気よくしっかりと指導できる人を募集しています。また、応募者は高い英語の言語スキルとリーディングスキルがなくてはなりません。勤務は週に3日、午前中に生徒に一对一で2時間教えることになります。学習サポートアシスタントは学校のスタッフの指導のもと働くことになりますが、給与と勤務時間は生徒の家族との相談して決めていただきます。これらについては面接の際にお話します。応募を希望する方は、履歴書を [Greg Brunton](mailto:Greg_Brunton@kist.ed.jp) (プライマリースクール校長) g_brunton@kist.ed.jp に送ってください。



お裁縫が得意な人を募集しています

PYPプログラムの掲示を手伝っていただけるお裁縫が得意な保護者の方を1人か2人募集しています。生地の買い出し(費用は学校が負担します)と数時間の縫物をしていただきたいと思います。デザインはPYPコーディネーターEmma Homerleinとローワースクール校長のAmanda Cookeと相談して決めていただきます。手伝うスキルと時間があると思う方は [Amanda Cooke](mailto:Amanda_Cooke@kist.ed.jp) a_cooke@kist.ed.jp までご連絡ください。



ピアノの調律

Mr Shimosawa (K2: Shinのお父様)が学校のピアノを4台調律して下さいました。お陰様で生徒達は授業で音楽を正しい音程で聞くことができます。Mr Shimosawa ありがとうございます。



インタースクールクロスカントリー

毎年行われているK.インターナショナル主催のインタースクールクロスカントリーが11月27日(金)に行われました。K.インターナショナルスクール東京からはGrade 1からGrade 12まですべての学年の代表生徒が参加しました。当日イベントの運営を手伝ってくれたスタッフと頑張った生徒たちにお礼を言いたいと思います。皆さんのおかげでイベントを成功させることができました。イベントでは素晴らしい成果が見られ、K.インターナショナルスクールはたくさんのメダルを獲得することができました。メダル獲得者は以下の通りです:



Grade 1 Boys:

Silver – Hee Sung (G1A)
Bronze – Jun (G1B)

Grade 1 Girls:

Gold – Saki (G1A)
Silver – Maki (G1A)
Bronze – Maria Alexia (G1C)

Grade 2 Boys:

Silver – Amane (G2B)
Bronze – Zac (G2B)

Grade 3 Girls:

Gold – Hina (G3A)

Grade 6 Girls:

Bronze – Nino (G6A)

Grade 6 Boys:

Bronze – Tyson (G6A)

Grade 7 Boys:

Gold – Salam (G7A)

Grade 8 Boys:

Bronze – Shin (G8A)

Grade 9 Boys:

Silver – Shimon (G9B)
Bronze – Alakhsa (G9A)

Grade 9 Girls:

Gold – Monica (G9B)
Silver – Shifa (G9A)
Bronze – Marie (G9A)

Grade 10 Boys:

Gold – Eric
Bronze – Leo

Grade 10 Girls:

Silver – Erica
Bronze – Na Yeong

Grade 11 Boys:

Bronze – Pyay Phyto

Grade 11 Girls:

Gold – Jessica
Silver – Shreya
Bronze – Da Hea

総合点は以下の通りです:

Lower Primary Trophy (Grades 1, 2, 3)

K. International School Tokyo	350
The Montessori School of Tokyo	320
The British School in Tokyo	100

Lower Middle School Trophy (Grades 4, 5, 6)

The British School in Tokyo	350
Yokohama International School	330
Tokyo International School	120

Upper Middle School Trophy (Grades 7, 8, 9, 10)

K International School Tokyo	510
The British School in Tokyo	360
Yokohama International School	210

学校開発計画

KISTでの活動は明確にされている全校の目標に沿って行われています。これらの目標はIBの基準と実習についての信念を基にしたもので、当校の学校開発計画の基礎となっています。当校の学校開発計画をこのように構築することで、スクールコミュニティのメンバーの皆さんが活動の起源を調べることができます。また、その基となっていて計画を導き、私たちを前進させてくれ、スクールコミュニティでの学習に関係している信念も調べることができます。KISTの学校開発計画はウェブサイトでもご覧になれます。これは重要な情報なので、是非読んで頂きたいと思います。この計画に関して質問やご意見等ございましたら、私にご連絡ください。この計画は常に見直しされます。

Damian Rentoule
Vice Principal/ Curriculum Director

日本語ノート 3

たくさんの保護者と生徒から家庭での日本語学習について聞かれます。そこで、簡単で楽しいウェブサイトをいくつか紹介したいと思います。



Stacey Isomura

ESL and Japanese Teacher

Sushi test <http://www.jpff.go.jp/e/urawa/>

右側にある“Sushi test/internet Japanese testをクリックしてください。日本語の言語テストを受けることができます。日本語検定試験の3級または4級を受ける生徒にとってこのテストはいい練習になります。簡単なレベルから始まり、徐々に難しくなります。テストでいい結果を出すと、最後のスクリーンでお寿司がもらえます。

Kantango <http://www.kantango.com/>

このサイトでは日本語の語彙の勉強ができます。自身の単語帳やパズルを作り、練習することができます。

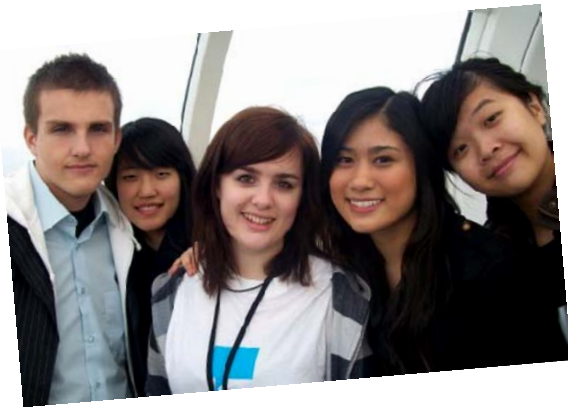
Kids Web Japan <http://web-japan.org/kidsweb/>

最後にKids Web Japanを紹介したいと思います。このサイトはGrade 3からGrade 8、またその上の学年の生徒が日本語と日本の文化を学ぶのに最適なもの。物語、ゲーム、動画、論説などがあります。このサイトは英語、日本語、韓国語、マンダリン語、アラビア語、フランス語、ドイツ語、スペイン語でアクセスできます。

グローバル・チェンジメーカー

2009年11月15日にロンドンのヒースロー空港に到着しました。正直なところ私はとても不安でした。親戚のいないイギリスで1週間のグローバル・チェンジメーカー会議に参加することになったからです。しかし、私の名前の書いてあるサインを持ったブリティッシュ・カウンシルの職員を見つけると、不安が消えて、世界中から集まった60人の参加者と現在起こっている問題について討論ができる1週間にわくわくしてきました。

その1週間の内容は討論だけではありませんでした。(ちなみに、激しい討論は深夜2時に行われました)むしろその1週間は私たちの言葉を実行に移すものでした。例えば、「市場」にまる1日を費やしました。プロジェクト管理、メディア、調査のスキルに磨きをかけるような様々なワークショップを行い、独自の地域社会活動プロジェクトを始めました。自分たちのことを話し、27秒という限られた時間で観客をひきつける方法も学びました。



また、1週間の間にAvaazのキャンペーンディレクターや、Make Poverty Historyの職員の方々とお話をさせて頂ける機会がありました。また、Action AidやGlobal Generationなどの団体にプライベートツアーもして頂きました。そしてこの1週間の最大のハイライトはイギリスの有名なコメディアンFrancesca Martinezに会えたことです。精神障害を抱えながらも彼女は自分の状況を“wobbly”(グラグラしている)と笑えるぐらい一生懸命で、観客に無制限の笑い刺激を与えます。1週間の終りに行われたイギリス議会のメンバーとお話ができるパーティーでも彼女の姿を見ることができとてもうれしかったです。私は彼女とハグをし、一緒に写真を撮らせていただきました。

このサミットに参加した1週間は、私の今までの人生の中で一番私の人生を変えた1週間だと言えます。また、年明けの1月にDavosで行われる世界経済フォーラムで、ビル・クリントン、コフィ・アナン、ゴードン・ブラウンなどの世界的リーダーの前で話す6人の中の1人として選ばれたことを知り、とても恐縮しています。フォーラムにはオバマ大統領の参加も予想されており、信じられない程、胸が高鳴っています。

私は現在、サミットで知り合った友人と一緒に貧困問題に取り組んでいる、Youth Directed Media Projectに参加しています。このプロジェクトは、ブリティッシュカウンシルの後援を受けることになっています。今後KISTのコミュニティーにも参加して頂く機会があるかもしれません。

この会議からレッスンを1つ持ち帰るとすれば、それは何事も可能だということです。腐敗と暴力に関する記事を読んだ時に失望するのではなく、何か変える機会を探すようになりました。青年の意見が無視されることはほとんどありません。それは私たちにはこの世界を前に進めるチャンスがあるということです。この記事を読んでいるKインターナショナルスクールの生徒の皆さん、世界はあなたたちの手の中にあるということを忘れないでください。



この記事がこれ以上長くならないように、そろそろ終わらせるべきだとは思いますが、サミットについて質問がある方は私を学校で見かけたら遠慮なく聞いて下さい。来年参加する価値があると思います。私と同じように素晴らしい経験をし、素敵な友達に出会うことができると思います。詳しくはCollege Guidance OfficeのMrs OkudeかMr Wagnerに連絡してください。

Carmina (G12)

編集後記:

Carminaは1月にスイスのダヴォスで行われる世界経済フォーラムに参加する世界中の6人の高校生の中の1人として選ばれました。おめでとうございます。